

経済学部 経済学科 カリキュラムツリー

[2026年度(令和8年度)の入学生に適用]

卒業認定・学位授与の方針(DP)	(1) 自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することができ、自らを律し、他者と協調・協働することができます。	(2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。	(3) 幅広い知識と能力を身につけています。	(4) 経済・社会問題を的確に捉えることができます。	(5) 筋道を立てて問題を考えることができます。	(6) 自らの力で解決策を示すことができます。
------------------	--	-----------------------------------	------------------------	----------------------------	--------------------------	-------------------------

対応する卒業認定・学位授与の方針(DP)の番	(1) (2) (3) (5)	(1) (2) (5)	(1) (2) (4)	(1) (2) (6)	(1) (2) (4)	(1) (2) (5)	(1) (2) (4)	(1) (2) (6)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)
------------------------	-----------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

科目群	Z 全学共通科目	A 群 理論・情報	B 群 財政・金融	C 群 公共経済	D 群 国際経済	E 群 産業・企業	F 群 歴史・思想	G 群 ゼミ(演習)	H 群 キャリア系科目	I 群 共通科目・自由選択科目			
到達目標	Z 人文科学、自然科学、社会科学などに基づく大局的な視野と倫理的な視点から、専門分野と社会の関わりを考察することができ、自己の健康増進に関する技能を有し、グローバル社会において多様な人々と意思疎通を図ることができる。	A 論理的・分析的な思考法、及び、問題を科学的に把握する能力を有している。	B 市場経済の仕組みと産業・企業の仕組み、及び、政府の役割に関する知識を有している。	C 国際社会、日本社会、地域社会などが抱える諸問題を理解し、それらを解決するための政策立案能力を有している。	D 国際経済、国際社会の動向及び外国経済事情に関する知識を有している。	E さまざまな情報源(日本語以外で発信されているものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有効に活用する能力を有している。	F 現代経済社会が形成されるに至った歴史的過程とその思想的背景に関する知識を有している。	G 課題を発見し、自ら調査し、解決策を導き出すことができる。	H 社会において必要となるコミュニケーション能力、IT活用能力、プレゼンテーション能力、ディベート能力を有している。	I 将来、社会の一員として生きる上で必要となる幅広い知識と教養を有している。			
3,4年次		上級ミクロ経済学Ⅰ 上級ミクロ経済学Ⅱ 上級マクロ経済学Ⅰ 上級マクロ経済学Ⅱ 計量経済Ⅰ 計量経済Ⅱ 家計の経済 ビジネスデータ分析	地方財政Ⅰ 地方財政Ⅱ 金融政策Ⅰ 金融政策Ⅱ 国際金融Ⅰ 国際金融Ⅱ ファイナンスⅠ ファイナンスⅡ	公共政策 労働経済Ⅱ 地域政策ワークショップA 地域政策ワークショップB 経済体制Ⅰ 経済体制Ⅱ 健康経済 震災と地域経済Ⅰ 震災と地域経済Ⅱ	現代日本経済 現代アメリカ経済 現代中国経済 現代ヨーロッパ経済 現代アジア経済Ⅰ 現代アジア経済Ⅱ	ネットワークエコノミクスⅠ ネットワークエコノミクスⅡ 産業組織Ⅰ 産業組織Ⅱ 環境経済Ⅰ 環境経済Ⅱ	日本経済史Ⅰ 日本経済史Ⅱ 西洋経済史Ⅰ 西洋経済史Ⅱ 日本の経済思想家 現代経済学の諸潮流	ゼミⅡ ゼミⅢ	キャリア実習 地域プロジェクトⅡ	英語で読む経済Ⅱ 外国大学科目A 外国大学科目B 外国大学科目C 外国大学科目D 外国大学中級科目A 外国大学中級科目B 外国大学上級科目IA 外国大学上級科目B 外国大学上級科目C 外国大学上級科目D ブライタイルキャリアデザインⅠ ブライタイルキャリアデザインⅡ アドバンスキャリアデザイン 情報リテラシーA 情報リテラシーB	政治学入門 政治学原論 法律学概論 入門民法 財産法編Ⅰ 入門民法 財産法編Ⅱ 入門商法 会社法編 憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 経済法Ⅰ 経済法Ⅱ 税法Ⅰ 税法Ⅱ 所得課税法 法人課税法 労働法Ⅰ 実践民法Ⅰ	実践民法Ⅱ 実践民法Ⅲ 実践民法Ⅳ 実践民法Ⅴ 実践民法Ⅵ 証券市場と法 金銭取引と法 証券業と法 会計学総論 経営学総論 マーケティング総論 地誌Ⅰ 地誌Ⅱ 地域ファシリテイト アジア史概説Ⅰ アジア史概説Ⅱ 西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ 日本史概説Ⅰ 日本史概説Ⅱ	公共社会学 自然地理学 文化人類学 現代経済学特論Ⅰ 現代経済学特論Ⅱ 社会学概論 多文化共生論 人文地理 地誌Ⅰ 地誌Ⅱ 地域ファシリテイト アジア史概説Ⅰ アジア史概説Ⅱ 西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ 日本史概説Ⅰ 日本史概説Ⅱ
2年次	基礎共通科目(人文・自然・社会)*1	中級ミクロ経済学 中級マクロ経済学 中級統計学 経済数学 PC統計学	財政 金融	公共経済 労働経済Ⅰ 地域政策 経済政策	国際経済	産業経済	経済史 社会経済思想史Ⅰ 社会経済思想史Ⅱ 経済学の歴史	ゼミⅠ	キャリアゼミ プロジェクトゼミ 地域プロジェクトⅠ	英語で読む経済Ⅰ			
1年次	基礎共通科目(導入共通/学際融合等)*2 基礎共通科目(人文・自然・社会)*4 スポーツ健康マネジメント演習Ⅰ・Ⅱ College English(Reading/Writing) College English(Listening/Speaking) 基礎第2外国語 [ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・日本語] 基礎第2外国語Ⅱ [ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・日本語]				入門ミクロ経済学 入門マクロ経済学 統計入門 数学入門 経済入門Ⅰ 経済入門Ⅱ		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ	ベーシックキャリアデザイン					

1. 基礎共通科目は、合計18単位を取得しなければならない。
- ① 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ4単位以上(\*1)
  - ② 導入共通科目「甲南大学と平生筑三郎」共通基礎演習Ⅱ「IT 基礎」A1「データサイエンス入門」の中から2単位以上、学際融合系・国際言語文化系・スポーツ健康系の授業科目の中から2単位以上(\*2)
2. 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることできる。ただし、必修または選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。
- ① 中級外国語・上級外国語・海外語学講座・留学支援科目については、16単位以内(ただし、国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語Writing」、「中級英語 Presentation」、「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」、「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」、「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」、「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」および「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。)
  - ② 「グローバル・コミュニケーションⅠ」、「グローバル・コミュニケーションⅡ」については、8単位以内
  - ③ ジャパンスタディーズについては、4単位以内
  - ④ エリアスタディーズについては、2単位以内
  - ⑤ 生涯スポーツについては、2単位以内
  - ⑥ 「IT 応用」、「データサイエンス基礎」については、2単位以内
  - ⑦ 実践ボランティアについては、2単位以内
  - ⑧ 甲南女子大学との単位互換協定に関する科目については、4単位以内
  - ⑨ 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学間単位互換協定に関する科目については、4単位以内
- 注)上記の①～⑨の科は、カリキュラムツリーに表示していない。

経済学部

経済学部